

最近の消費・輸入動向等について

《 目 次 》

- 1. 家計における購入、支出動向等
 - (1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入 P. 1～3
 - (2) 生鮮野菜の1人当たり年間購入 P. 4～5
 - (3) 外食の支出 P. 6
 - (4) 野菜の摂取量 P. 7
- 2. 小売の販売動向
 - (1) チェーンストア P. 8
 - (2) スーパーマーケット P. 9
 - (3) 品目別小売価格 P. 10
- 3. 外食の市場動向 P. 11
- 4. 輸入の動向 P. 12～13
- 5. 平成26年産夏秋野菜主要品目の主産県別生産・出荷等 P. 14
- 6. 今後の気象予報 P. 15～16

1. 家計における購入、支出動向等

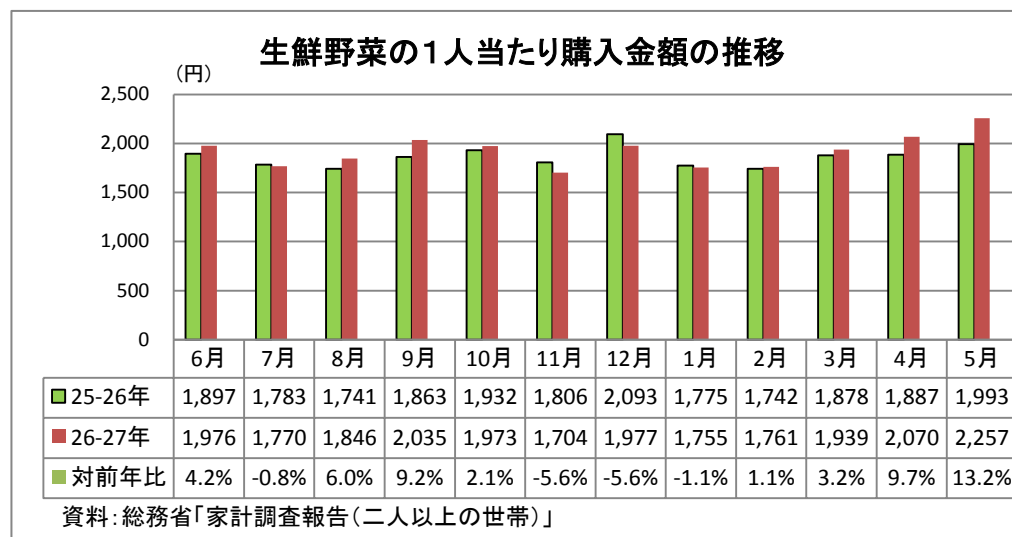
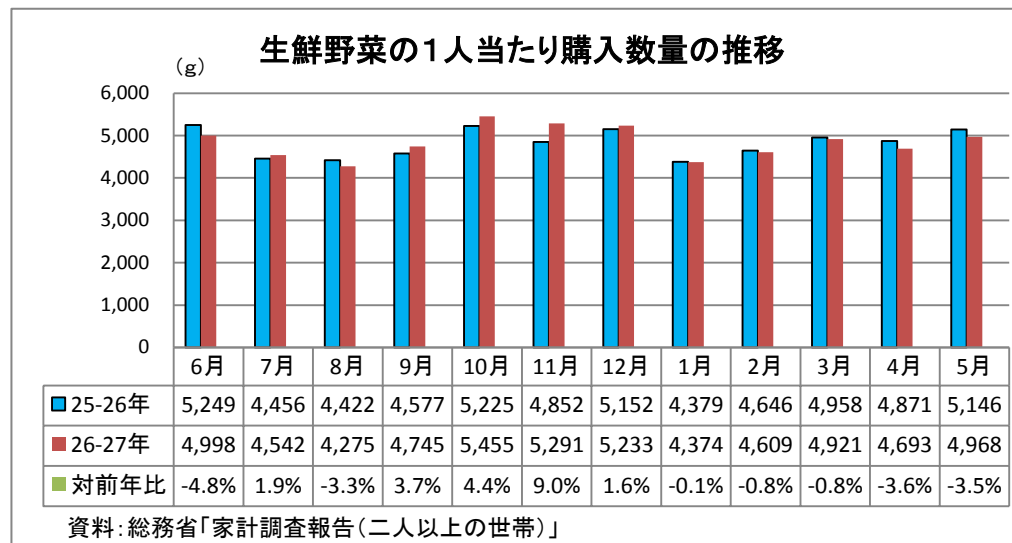
(1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入

<購入数量>

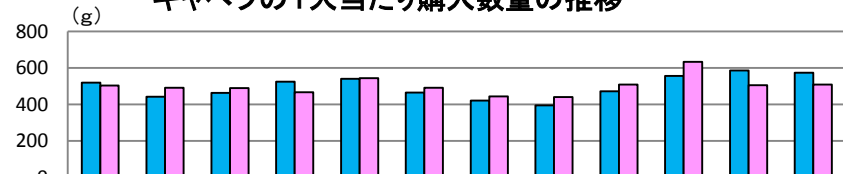
- 生鮮野菜の購入数量は、平成26年6月から8月にかけて減少傾向で推移し、特に、7月から8月は、北・東日本を中心に気温が高く暑さによる消費減退や野菜価格が高かったことから減少した。
- 10月から12月は、野菜価格が高騰した前年の購入数量を上回って推移した。これは、前年が長雨や台風、低温の影響により、生育不良や遅延などから購入数量が減少していたためである。
- 1月以降、前年並みで推移していたが、4月に天候不順等の影響で、特に、キャベツやだいこん等の出荷量減少に伴う野菜価格の高騰により前年を下回った。

<購入金額>

- 生鮮野菜の1人当たりの購入金額は、11月から1月にかけて、順調な生育などから野菜価格が下落したことにより前年を下回っていたものの、2月から5月では野菜価格の高騰などにより前年を上回った。
- 6月は、だいこんなど一部の品目の価格が高値傾向であったことから前年を上回った。
- 8月及び9月には、はくさい、キャベツ、たまねぎなどの価格上昇により前年を上回った。
- 3月以降は、降雨の影響により野菜全般に品薄となり、特に、キャベツやレタス等の野菜価格が高騰したことにより前年を上回って推移した。



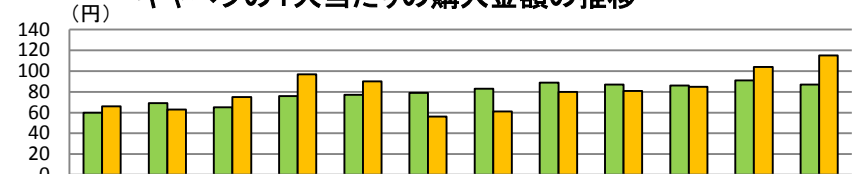
キャベツの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	520	443	464	525	541	466	422	395	472	556	587	574
■ 26-27年	504	492	490	467	544	492	444	441	510	634	506	510
対前年比	-3.1%	11.1%	5.6%	-11.0%	0.6%	5.6%	5.2%	11.6%	8.1%	14.0%	-13.8%	-11.1%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

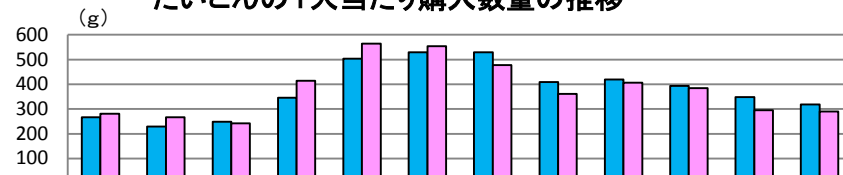
キャベツの1人当たりの購入金額の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	60	69	65	76	77	79	83	89	87	86	91	87
■ 26-27年	66	63	75	97	90	56	61	80	81	85	104	115
対前年比	10.0%	-8.7%	15.4%	27.6%	16.9%	-29.1%	-26.5%	-10.1%	-6.9%	-1.2%	14.3%	32.2%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

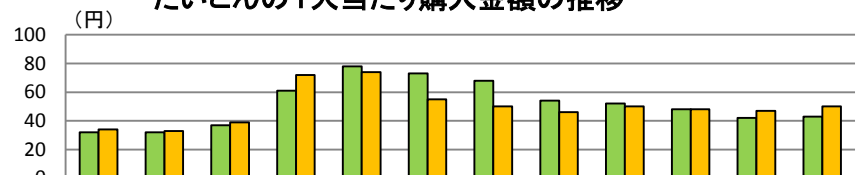
だいこんの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	267	229	249	346	503	530	529	409	420	394	348	318
■ 26-27年	281	267	242	414	564	554	477	361	407	384	295	290
対前年比	5.2%	16.6%	-2.8%	19.7%	12.1%	4.5%	-9.8%	-11.7%	-3.1%	-2.5%	-15.2%	-8.8%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

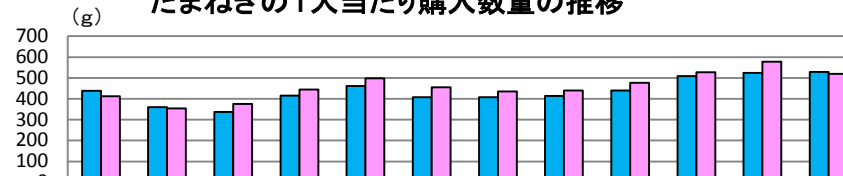
だいこんの1人当たり購入金額の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	32	32	37	61	78	73	68	54	52	48	42	43
■ 26-27年	34	33	39	72	74	55	50	46	50	48	47	50
対前年比	6.3%	3.1%	5.4%	18.0%	-5.1%	-24.7%	-26.5%	-14.8%	-3.8%	0.0%	11.9%	16.3%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

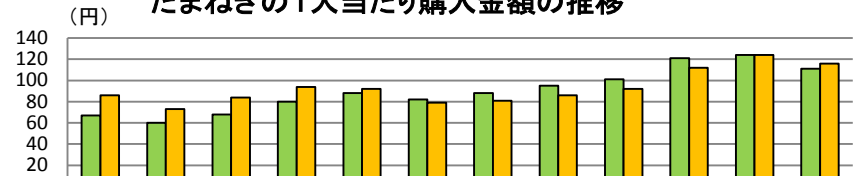
たまねぎの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	438	360	337	416	461	407	408	414	440	509	524	529
■ 26-27年	413	354	376	444	498	455	436	440	476	527	578	520
対前年比	-5.7%	-1.7%	11.6%	6.7%	8.0%	11.8%	6.9%	6.3%	8.2%	3.5%	10.3%	-1.7%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

たまねぎの1人当たり購入金額の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	67	60	68	80	88	82	88	95	101	121	124	111
■ 26-27年	86	73	84	94	92	79	81	86	92	112	124	116
対前年比	28.4%	21.7%	23.5%	17.5%	4.5%	-3.7%	-8.0%	-9.5%	-8.9%	-7.4%	0.0%	4.5%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

にんじんの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	231	187	191	224	265	252	302	262	243	250	233	253
■ 26-27年	223	188	204	245	264	269	308	261	274	272	249	246
対前年比	-3.5%	0.5%	6.8%	9.4%	-0.4%	6.7%	2.0%	-0.4%	12.8%	8.8%	6.9%	-2.8%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

にんじんの1人当たり購入金額の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	59	53	55	65	72	72	90	71	68	71	70	68
■ 26-27年	63	54	60	66	70	64	76	63	60	64	73	74
対前年比	6.8%	1.9%	9.1%	1.5%	-2.8%	-11.1%	-15.6%	-11.3%	-11.8%	-9.9%	4.3%	8.8%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

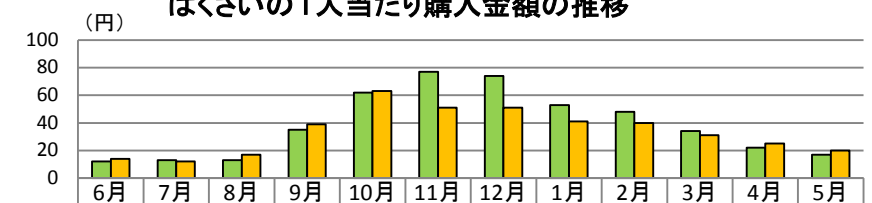
はくさいの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	80	63	56	162	381	503	525	365	325	216	134	111
■ 26-27年	86	68	69	152	396	499	536	375	345	211	105	65
対前年比	7.5%	7.9%	23.2%	-6.2%	3.9%	-0.8%	2.1%	2.7%	6.2%	-2.3%	-21.6%	-41.4%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

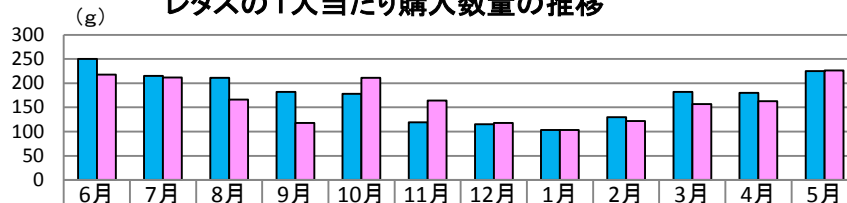
はくさいの1人当たり購入金額の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	12	13	13	35	62	77	74	53	48	34	22	17
■ 26-27年	14	12	17	39	63	51	51	41	40	31	25	20
対前年比	16.7%	-7.7%	30.8%	11.4%	1.6%	-33.8%	-31.1%	-22.6%	-16.7%	-8.8%	13.6%	17.6%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

レタスの1人当たり購入数量の推移



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	250	215	211	182	178	119	115	103	130	182	180	225
■ 26-27年	218	212	166	118	211	164	118	103	122	157	163	226
対前年比	-12.8%	-1.4%	-21.3%	-35.2%	18.5%	37.8%	2.6%	0.0%	-6.2%	-13.7%	-9.4%	0.4%

資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

レタスの1人当たり購入金額の推移

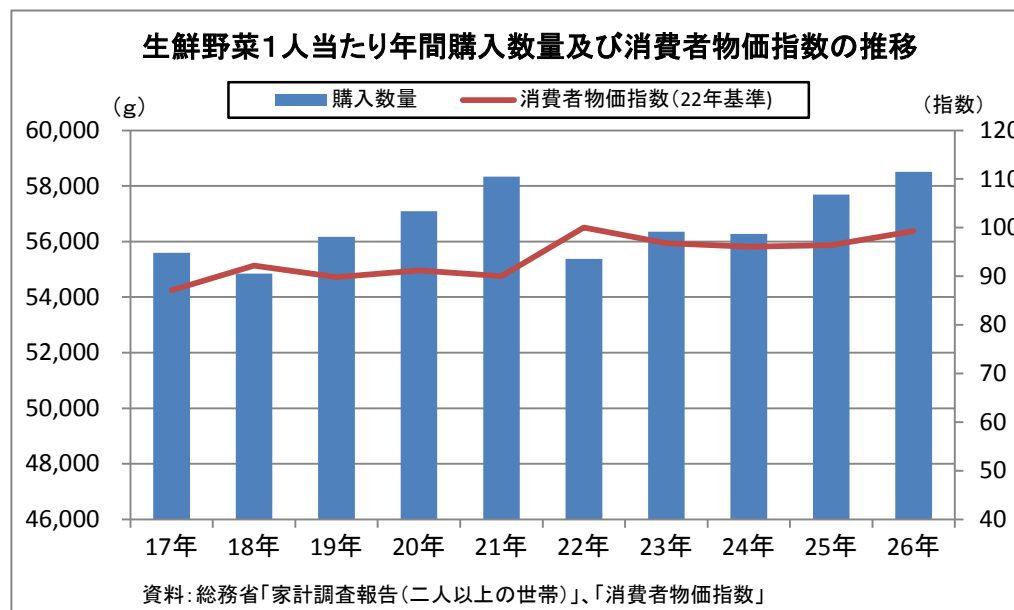


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
■ 25-26年	66	78	79	81	75	64	73	67	63	69	64	71
■ 26-27年	68	73	79	81	75	52	63	67	65	74	83	95
対前年比	3.0%	-6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	-18.8%	-13.7%	0.0%	3.2%	7.2%	29.7%	33.8%

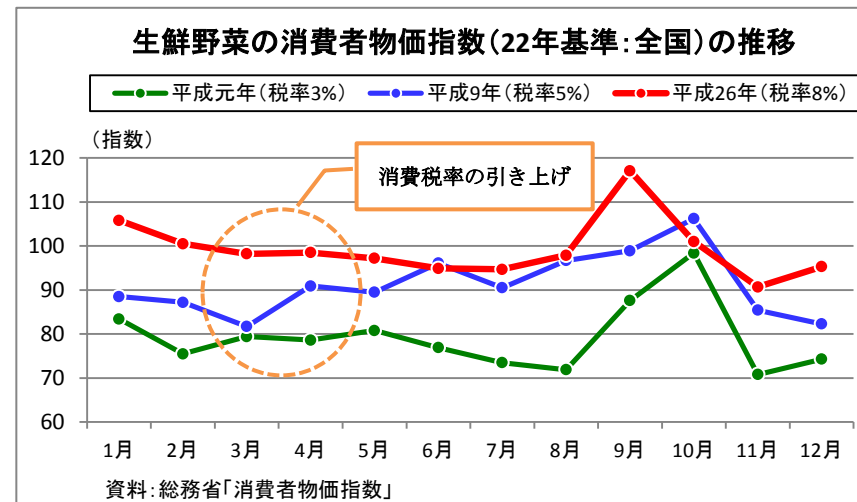
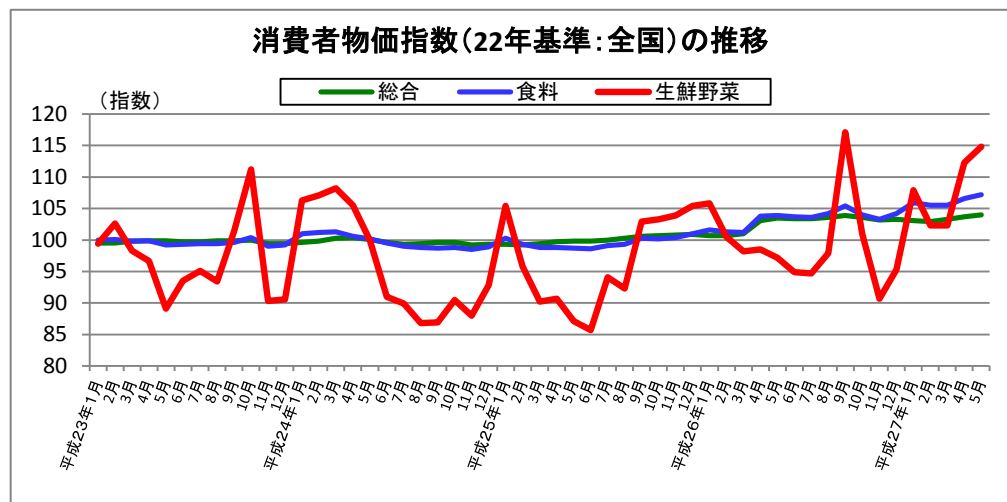
資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」

(2) 生鮮野菜の1人当たり年間購入

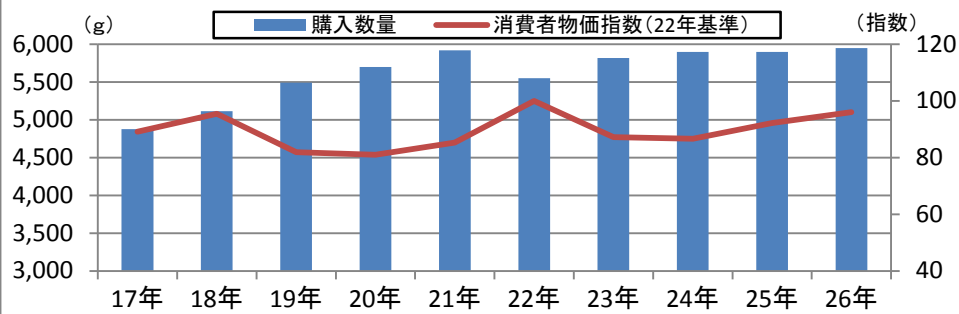
- 生鮮野菜の1人当たり年間購入数量は年によって変動するものの、消費者物価指数（小売価格）が高くなると、購入数量が減少する傾向が見られた。
- 生鮮野菜1人当たり年間購入数量を品目別にみると、近年、だいこん、たまねぎ及びはくさいは増加傾向、キャベツ、にんじん及びレタスは横ばい傾向がみられた。
- 消費者物価指数については、消費税率が引き上げられた平成26年4月には、総合指数の前月比は2.1%上昇、食料指数は2.6%上昇したものの、その後は横ばいとなった。生鮮野菜指数は、4月には0.3%上昇した後、減少傾向で推移したが、夏の野菜価格の高騰により8月及び9月は急激に上昇した。10月に入り好天などにより大幅に下落し、1月にかけて17.2%上昇した後、3月にかけて下落したものの、野菜価格の高騰により5月にかけて12.5%上昇した。



【参考】

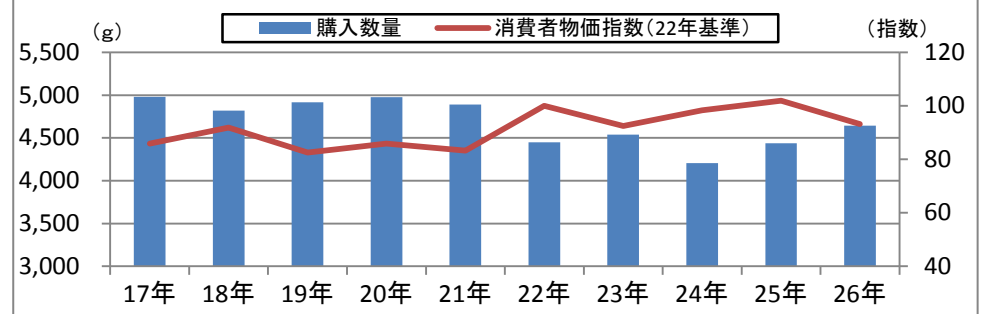


キャベツの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



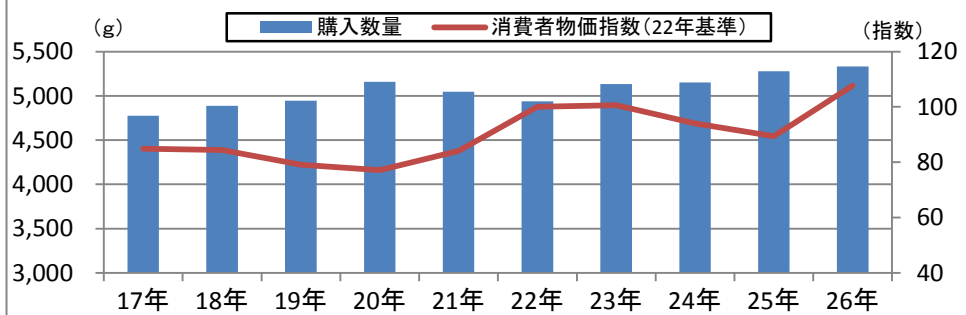
資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」

だいこんの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



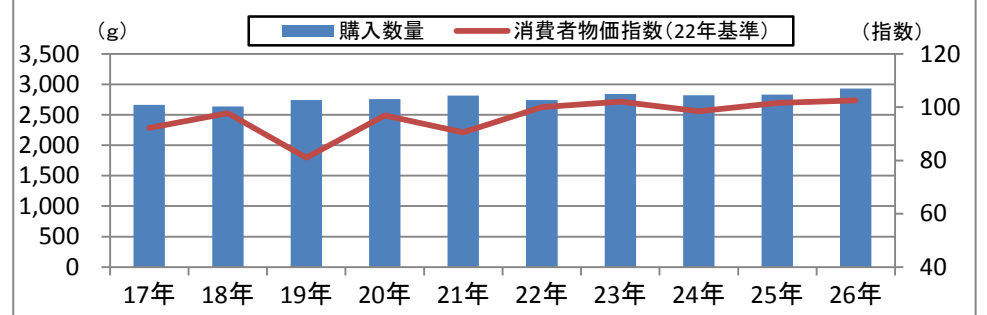
資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」

たまねぎの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



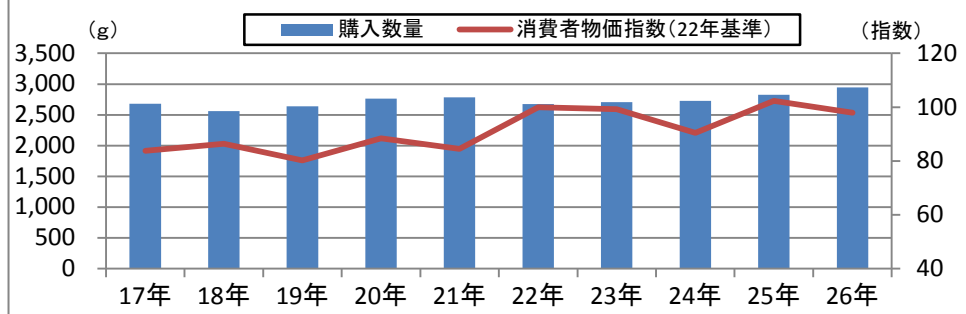
資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」

にんじんの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



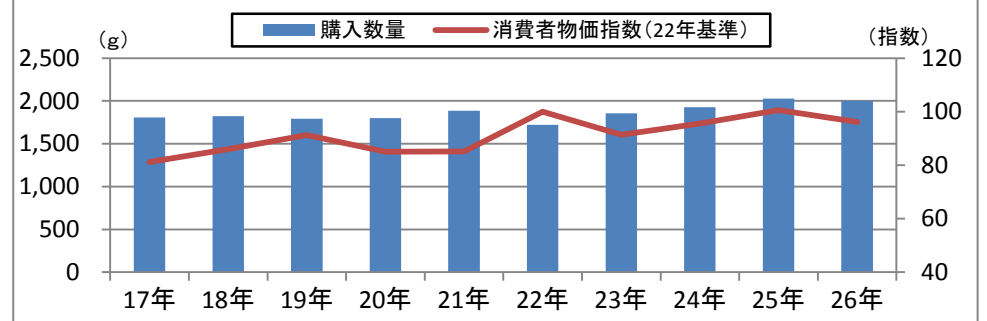
資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」

はくさいの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」

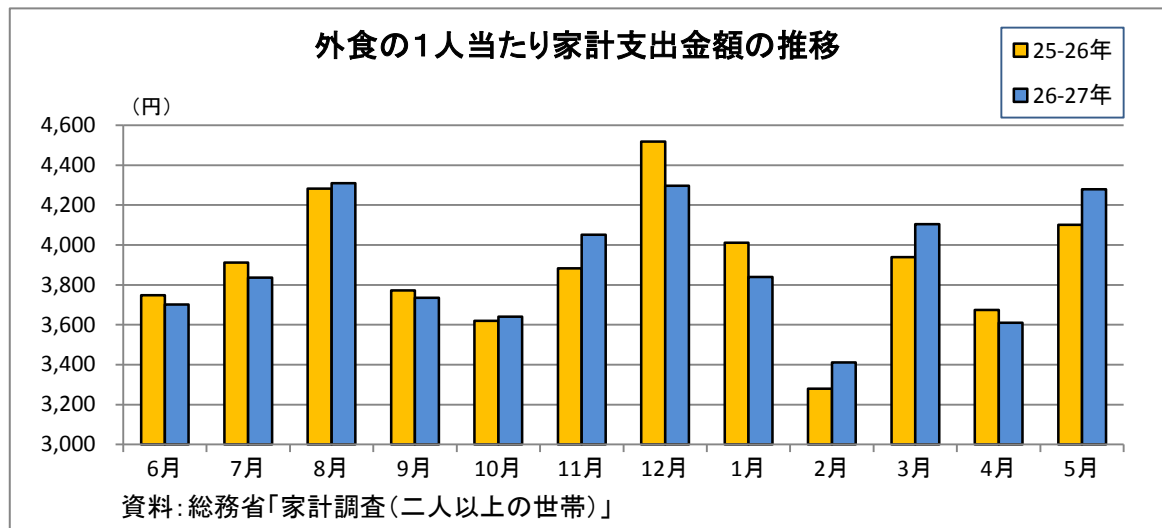
レタスの1人当たり年間購入数量及び消費者物価指数の推移



資料:総務省「家計調査報告(二人以上の世帯)」、「消費者物価指数」

(3) 外食の支出

- 平成26～27年の外食の家計支出金額は、9月は相次ぐ台風の上陸や12月から1月にかけて寒い日が続くなど、外食機会が減ったことにより、1人当たりの支出金額は前年同月を下回った。
- 11月は、比較的天候に恵まれたことや、前年より休日が多かったことにより、1人当たりの支出金額は前年同月を上回った。
- 2月から3月にかけては、記録的な大雪となった昨年と比べ、比較的天候に恵まれ外食機会が増えたことにより、1人当たりの支出金額は前年同月を上回った。



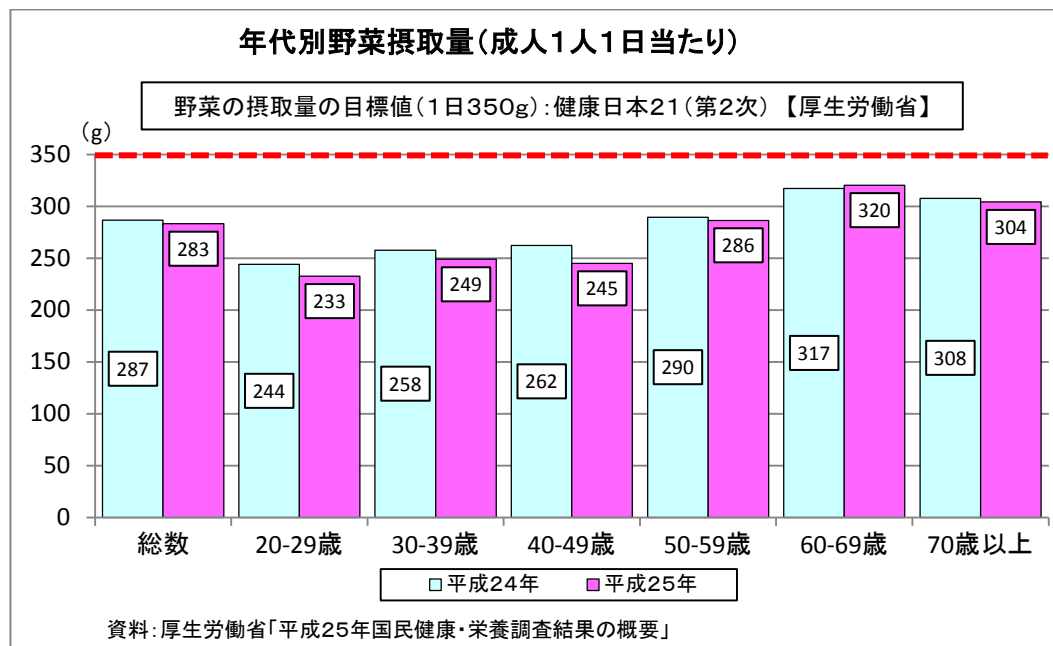
- 5月の外食の支出は、ゴールデンウィークを含む休日数が前年より多く、また期間中は天候にも恵まれたことや、全国的に気温が高かったことなどから、前年同月を上回った。
- 消費支出に占める割合は4.5%、前年同月比は98%であった。
- 食料支出に占める割合は17.6%、前年同月と同じであった。

家計調査(二人以上の世帯)

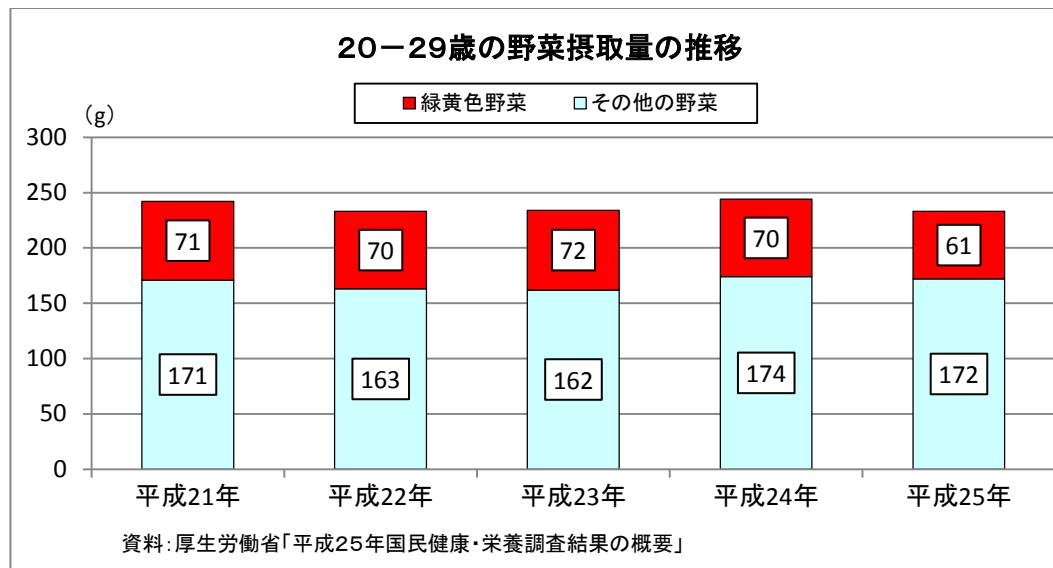
品目分類	26.5支出金額	27.5支出金額	対前年同月比
世帯人員 <①>	3.04	3.02	—
消費支出 <②>	271,411	286,433	106%
食料 <③>	70,767	73,488	104%
外食 <④>	12,468	12,926	104%
外食(1人当たり) <⑤=④/①>	4,101	4,280	104%
消費支出に占める割合(%) <⑥=④/②>	4.6	4.5	98%
食料に占める割合 <⑦=④/③>	17.6	17.6	100%

(4) 野菜の摂取量

- 平成25年の成人1人1日当たりの野菜摂取量は、前年に比べて減少し283グラム（前年比99%）となり、依然として、健康日本21（第2次）で示された、野菜の摂取量の目標値（1日350g）を下回っており、また、各年代別に見ても目標値に達した年代はなかった。
- 60～69歳を除いて、前年よりも野菜摂取量が減少しており、その中で、40代の野菜摂取量の減少量が大きく、また、20代が一番低い水準となっている。



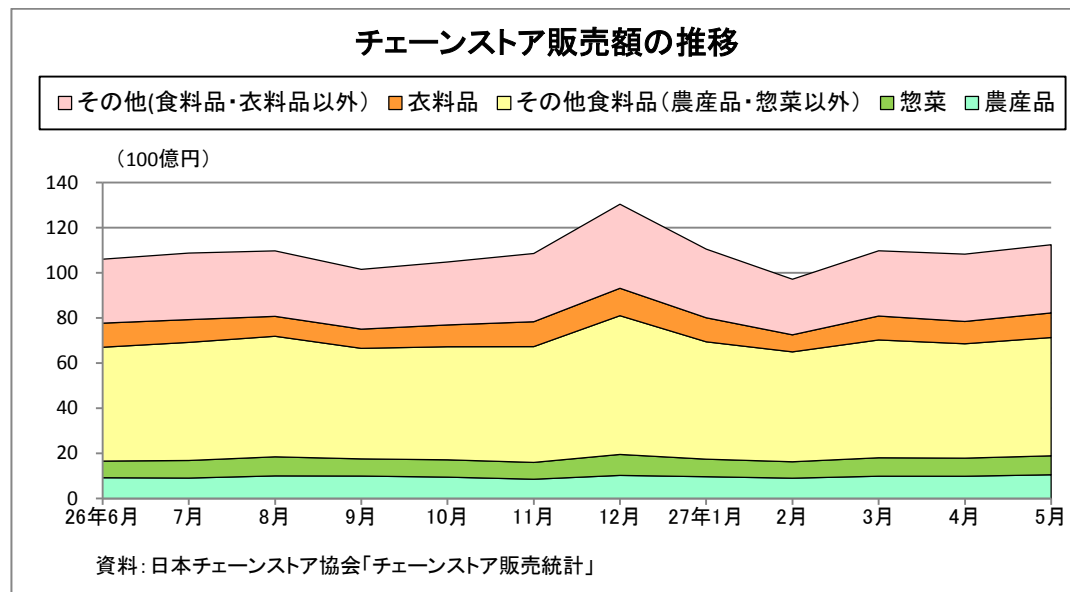
- 成人の中で特に20代は、簡便化志向の傾向などもあり、野菜摂取量が一番少ないが、過去5年でみると年により増減はあるものの、ほぼ横ばい傾向で推移している。
- 平成25年については、緑黄色野菜はかなり減少（前年13.0%減）したものの、その他の野菜がわずかな減少（前年1.2%減）にとどまったことから、全体で前年と比べ減少（前年4.5%減）した。



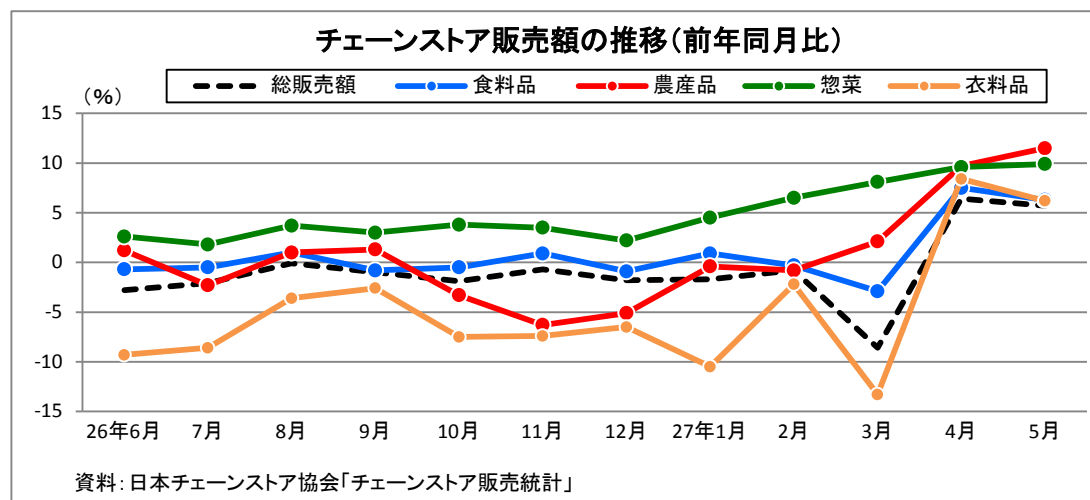
2. 小売の販売動向

(1) チェーンストア

- 総販売額の最高額は12月の1兆3,042億円、最低額は2月の9,718億円であった。
- 農産品の最高額は5月の1,057億円、最低額は11月の859億円であった。
- 惣菜の最高額は12月の929億円、最低額は2月の727億円であった。
- その他の食料品（農産品、惣菜以外）の最高額は12月の6,146億円、最低額は、2月の4,868億円であった。

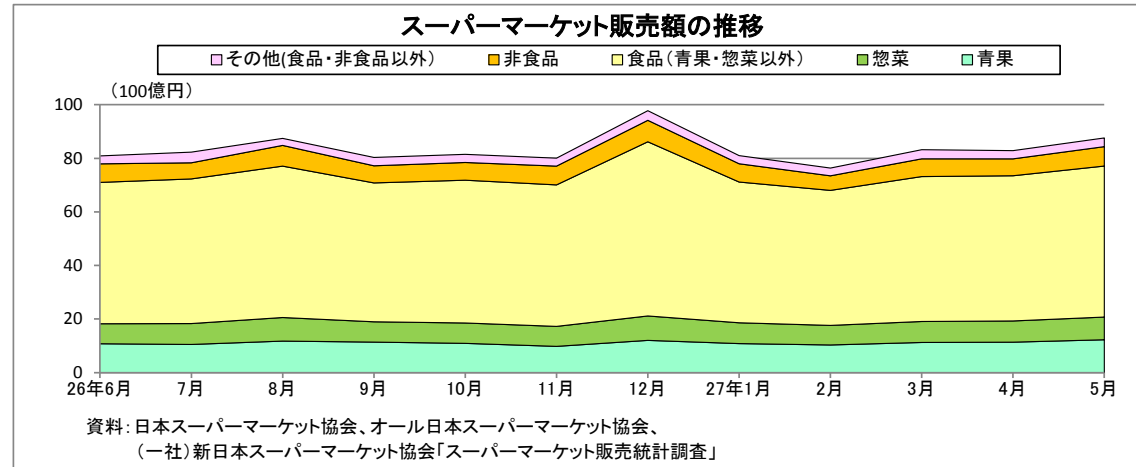


- 総販売額（前年同月比）は、前年を下回って推移し、平成27年3月には、前年の消費税増税の駆け込み需要増から大幅に下回り、その後、増税による買え控えの影響で低かった反動などもあり前年同月を上回った。
- 食料品は、おおむね前年同月並みで推移したが、3月は総販売額と同様の動向となり、4月以降は、増税による買え控えの影響で低かった反動と野菜価格の高騰の影響で前年同月を上回った。
- 農産品は、10月から12月にかけて野菜価格の下落もあり下回り、4月以降は野菜価格の高騰により前年同月を上回った。
- 惣菜は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりで消費者に支持され、また、増税の影響もなく堅調に推移したことから前年同月を上回った。

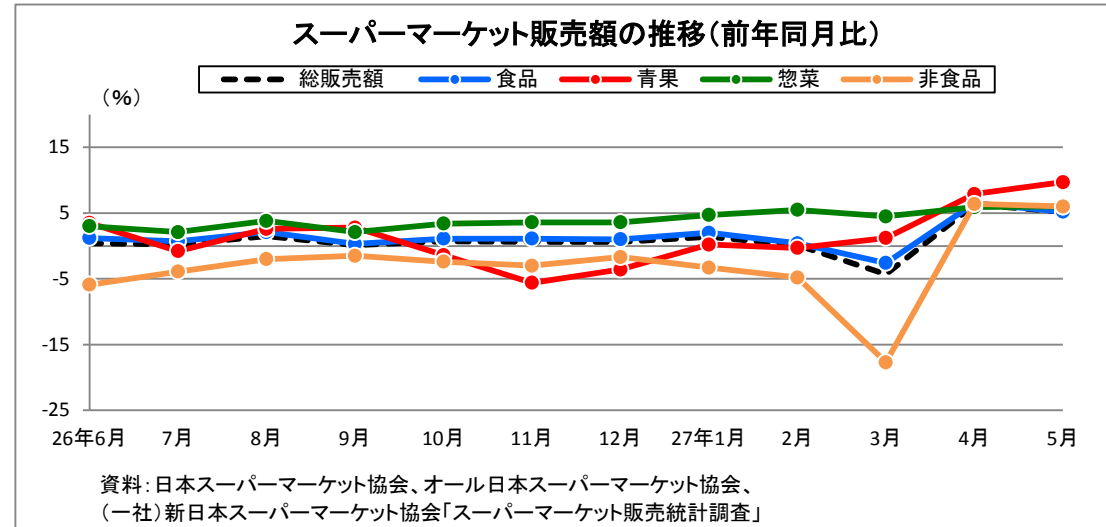


(2) スーパーマーケット

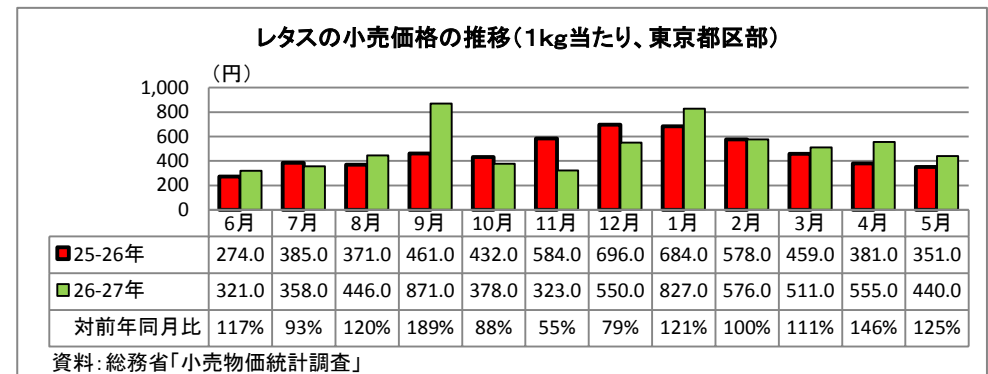
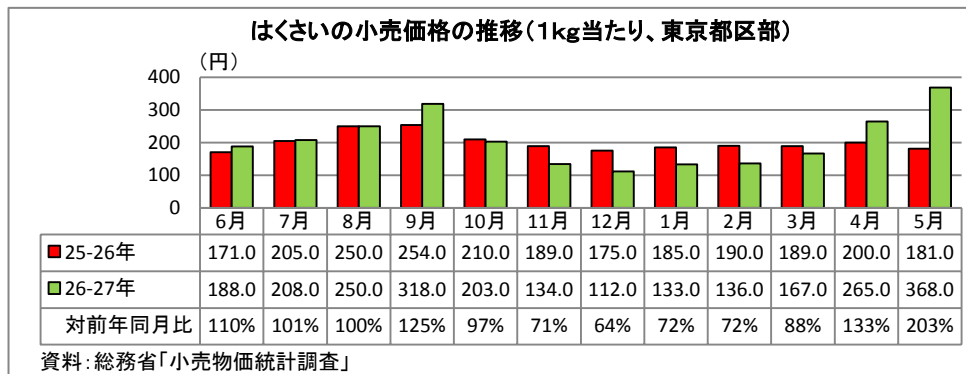
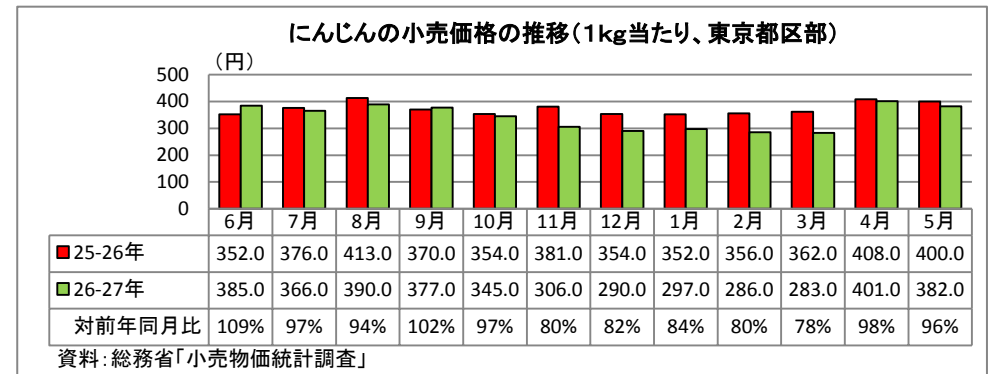
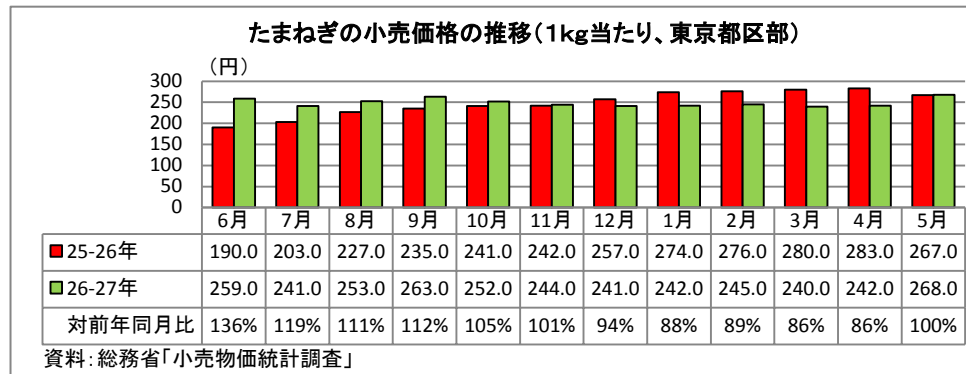
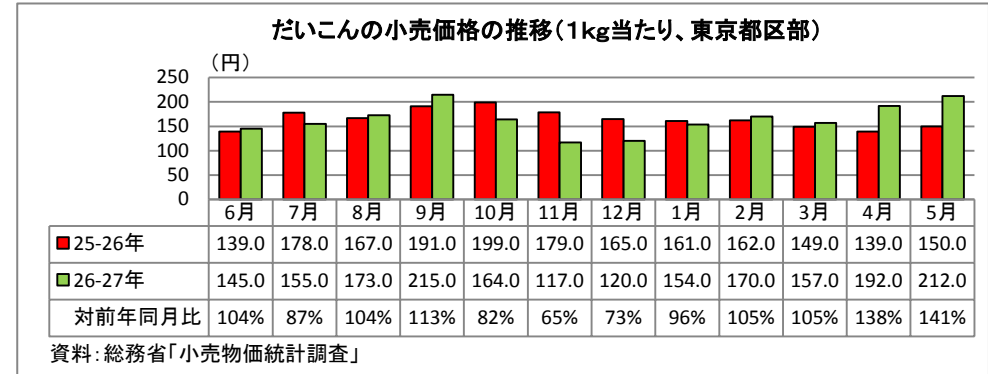
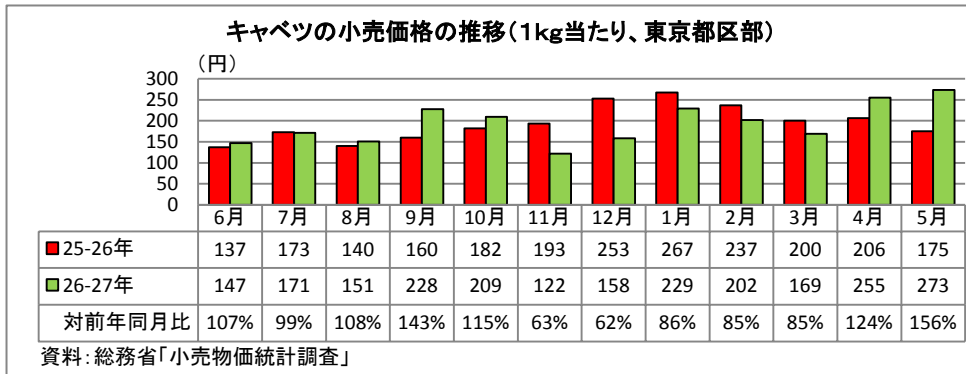
- 総販売額の最高額は12月の9,777億円、最低額は2月の7,635億円であった。
- 青果の最高額は5月の1,227億円、最低額は11月の980億円であった。
- 惣菜の最高額は12月の912億円、最低額は2月の730億円であった。
- 食品(青果、惣菜以外)の最高額は12月の6,501億円、最低額は2月の5,040億円であった。



- 総販売額(前年同月比)は、3月は前年の消費税増税の駆け込み需要から前年同月を下回ったが、その他の月では、前年同月を上回った。
- 食品は、総販売額と同様の動向であった。
- 青果は、10月から12月にかけて、野菜価格の下落により、前年同月を下回ったが、その他の月では、前年同月を上回り、特に4月以降は野菜価格の高騰の影響から前年同月を上回った。
- 惣菜は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりなどにより支持され、消費税増税や円安などの影響もなく前年同月を上回って推移した。

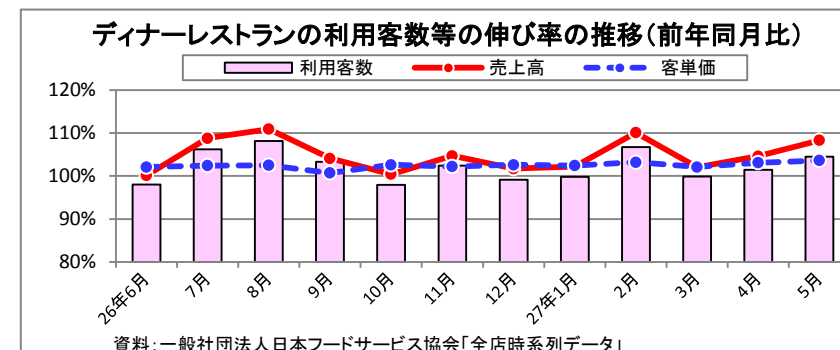
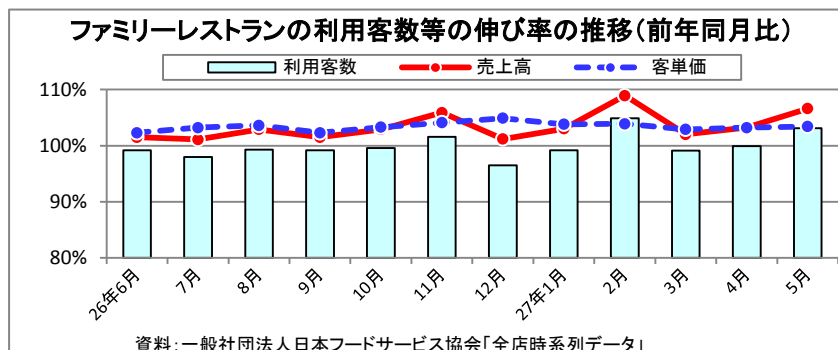
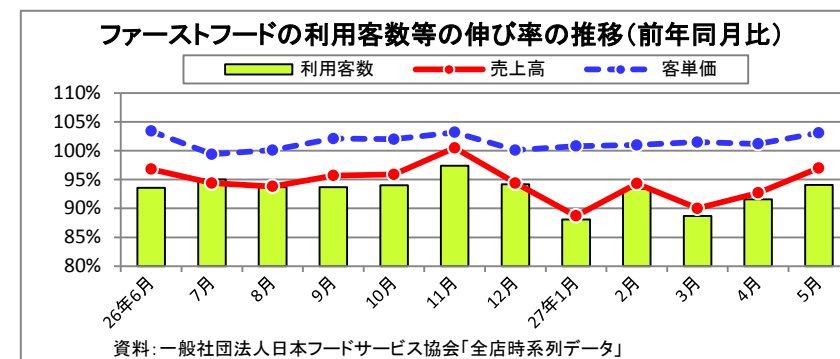
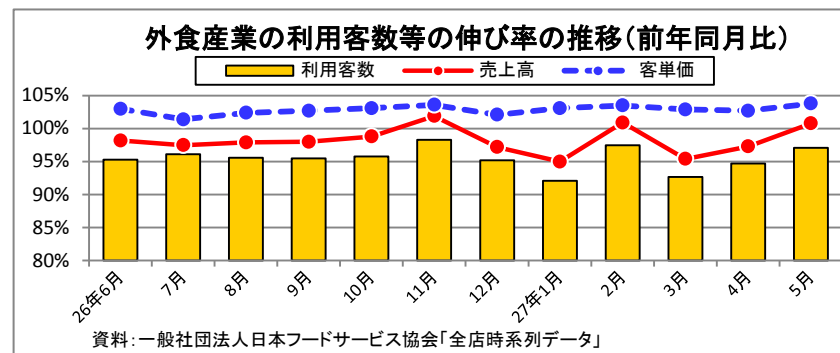


(3) 品目別小売価格



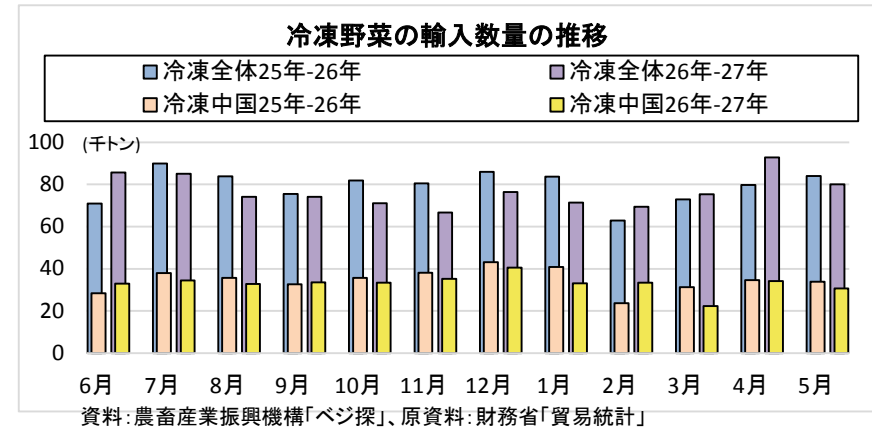
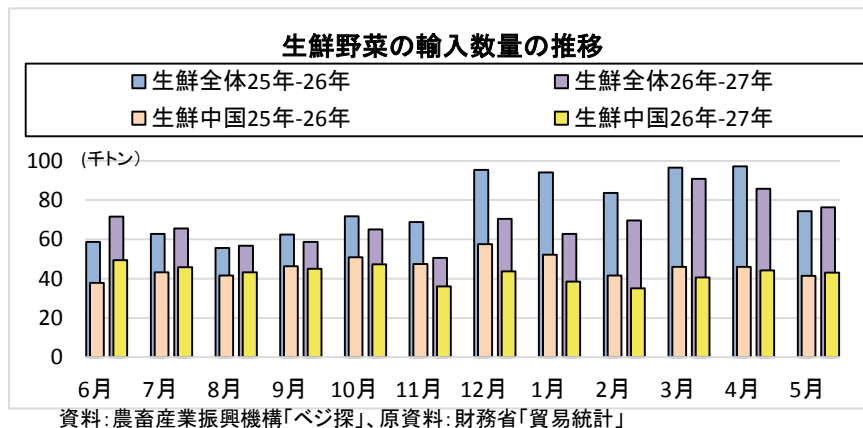
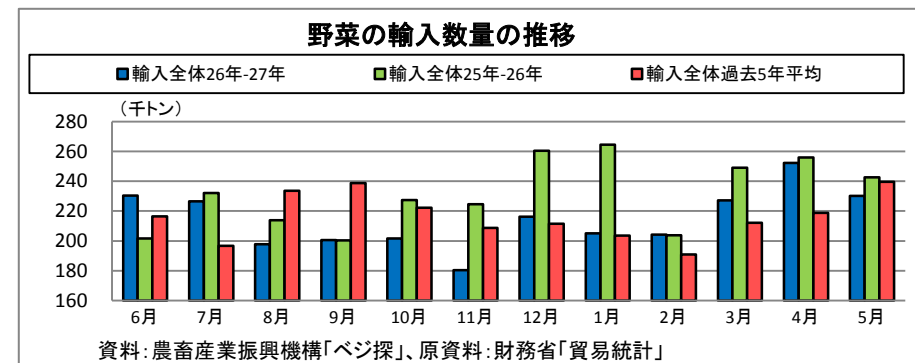
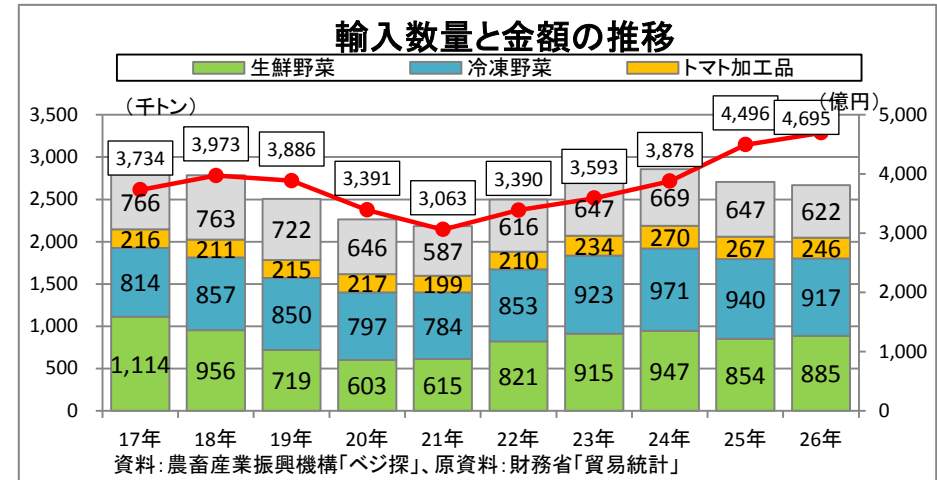
3. 外食の市場動向

- 外食店の利用客数は、直近1年間で見ると全ての月で前年同月を下回った。特に1月に発生したファストフード店での異物混入が3月まで影響したことから前年同月を大幅に下回った。なお、2月は前年の記録的大雪と比べ、穏やかな日が多かったことから減少幅は縮小した。
- 売上高は、前年を下回る月が多かったが、特に、天候の影響等があった12月や、異物混入問題の影響があった2月を除く1月以降、前年同月を大幅に下回った。
- 客単価は、高価格帯の商品が支持されたことなどから、25年5月以降、25か月連続で前年同月を上回った。
- 業態別では、ファストフード店での、高価格帯が支持され、客単価はほぼ前年同月を上回ったが、利用客数や売上高は、季節メニューが好調で一時的に好調な月はあったものの、異物混入や12月以降の悪天候等の影響により利用客数は全期間で、売上高は11月を除いてそれぞれ前年を下回った。
- ファミリーレストランは、利用客数は11月、2月及び5月を除いて前年同月を下回ったものの、季節フェア等の販促が効果をあげて客単価が増加したことなどから、売上高は前年同月を上回った。
- ディナーレストランの利用客数は、6月、10月及び12月を除いて前年同月を上回り、新規出店と高価格帯店の好調が相まって、売上高や客単価は前年同月を上回った。

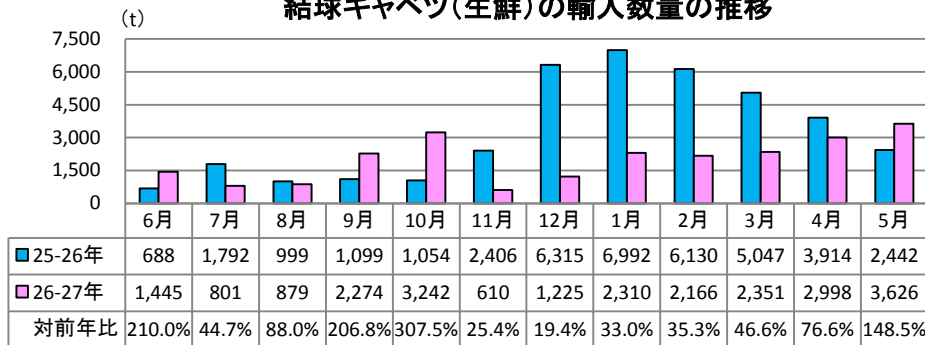


4. 輸入の動向

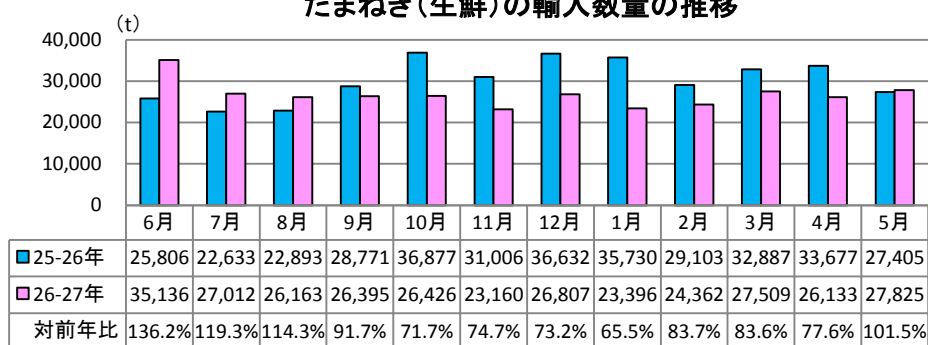
- 平成26年の野菜全体の輸入数量は、国内産や海外産地の作柄、市況変動と円安の影響、また、中国産たまねぎの残留農薬の基準値超え問題の発覚、更に米国の港湾ストの影響も一部で見られたことなどから267万トンと昨年を下回った。
- 輸入金額は、輸入数量の過半を占める中国産の生産・加工コストの上昇や円安による輸入単価の上昇などから、約4,700億円と過去最高となった。
- 類別では、生鮮野菜及び冷凍野菜の合計が野菜輸入数量の6割以上を占めた。
- 生鮮野菜の輸入数量は、一昨年の北海道産たまねぎの不作により1月までは輸入数量が増えたものの、昨年夏の中国産たまねぎの残留農薬問題や、円安などにより輸入物の引き合いが弱まったことから前年同月を下回って推移した。
- 冷凍野菜の輸入数量は、10月以降、円安などの影響もあり前年同月を下回ったが、4月以降、生鮮野菜の価格高騰により代替品として冷凍野菜が支持されるなど前年を上回って推移した。



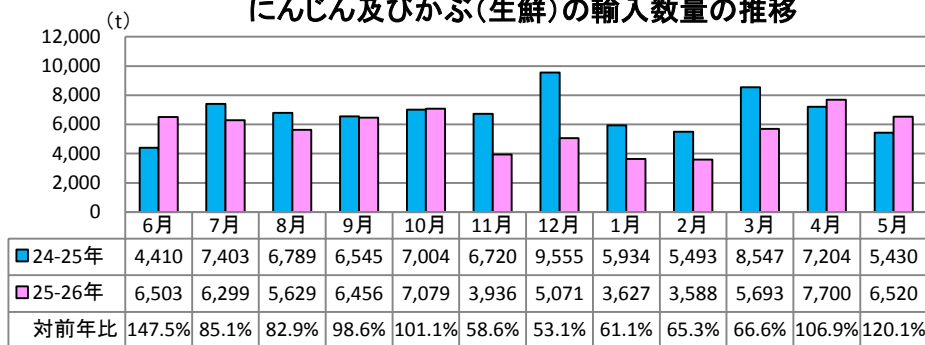
結球キャベツ(生鮮)の輸入数量の推移



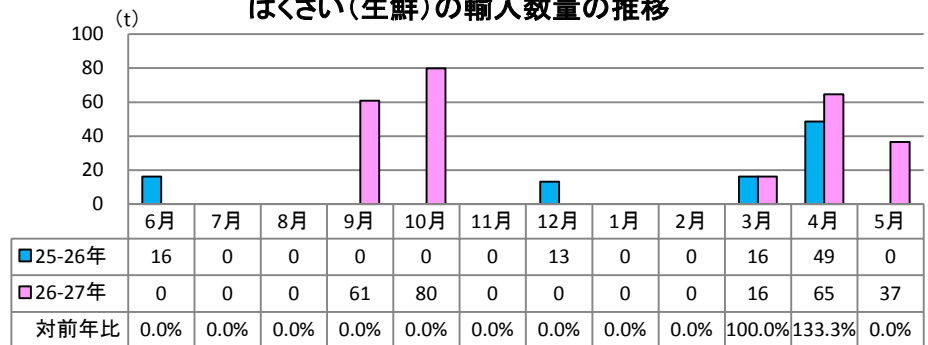
たまねぎ(生鮮)の輸入数量の推移



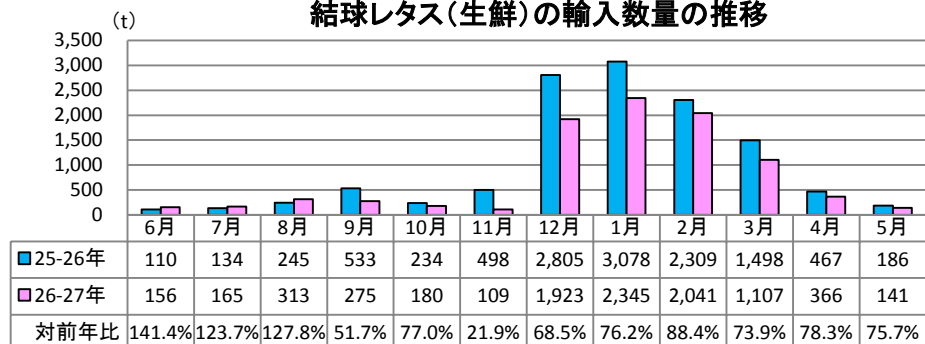
にんじん及びかぶ(生鮮)の輸入数量の推移



はくさい(生鮮)の輸入数量の推移



結球レタス(生鮮)の輸入数量の推移



資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料: 財務省「貿易統計」

5. 平成26年産夏秋野菜主要品目の主産県別生産・出荷等

資料：農林水産省「作物統計(野菜)」
平成27年4月28日公表

○ 夏秋キャベツ						
順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	10,200	4,640	473,600	420,400	100.0
1	全 国 群 馬	3,450	6,970	240,500	218,200	51.9
2	長 野 県	1,380	4,400	60,700	54,400	12.9
3	北 海 道	902	4,380	39,500	36,100	8.6
4	岩 手 県	710	3,720	26,400	23,500	5.6
5	熊 本 県	526	2,480	13,000	12,400	2.9
6	茨 城 県	508	4,030	20,500	18,900	4.5
7	青 森 県	351	3,530	12,400	11,000	2.6
8	秋 田 県	264	2,390	6,310	3,350	0.8
9	大 分 県	230	2,340	5,380	4,930	1.2
10	新 潟 県	220	2,620	5,760	3,620	0.9

○ 夏だいこん						
順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	6,490	3,960	256,700	232,700	100.0
1	北 海 道	2,750	4,890	134,500	126,300	54.3
2	青 森 県	1,620	4,000	64,800	58,500	25.1
3	岩 手 県	333	3,040	10,100	8,600	3.7
4	群 馬 県	277	4,070	11,300	10,200	4.4
5	熊 本 県	201	1,600	3,220	2,770	1.2
6	長 野 県	176	2,320	4,080	3,190	1.4
7	岐 阜 県	156	4,890	7,630	7,090	3.0
8	岡 山 県	91	3,400	3,090	2,760	1.2
9	宮 城 県	90	1,280	1,150	780	0.3
10	栃 木 県	76	2,230	1,690	1,360	0.6

○ たまねぎ						
順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	25,300	4,620	1,169,000	1,027,000	100.0
1	北 海 道	13,700	5,050	691,900	642,000	62.5
2	佐 賀 県	2,840	5,180	147,100	130,700	12.7
3	兵 庫 県	1,720	5,620	96,700	82,400	8.0
4	長 崎 県	753	3,920	29,500	26,600	2.6
5	愛 知 県	622	4,920	30,600	27,000	2.6
6	熊 本 県	333	3,590	12,000	10,100	1.0
7	静 岡 県	308	3,940	12,100	10,900	1.1
8	愛 媛 県	251	3,200	8,030	5,910	0.6
9	新 潟 県	250	2,150	5,380	2,690	0.3
10	栃 木 県	245	4,850	11,900	10,200	1.0

○ 秋にんじん						
順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	5,770	3,490	201,400	183,200	100.0
1	北 海 道	4,750	3,800	180,500	168,000	91.7
2	青 森 県	347	2,970	10,300	9,480	5.2
3	岩 手 県	108	1,560	1,680	840	0.5
4	新 潟 県	73	2,070	1,510	1,220	0.7
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-

○ 夏はくさい						
順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	2,490	7,060	175,800	158,800	100.0
1	長 野 県	1,730	8,490	146,900	133,300	83.9
2	北 海 道	341	4,250	14,500	13,100	8.2
3	群 馬 県	207	4,650	9,630	8,590	5.4
4	青 森 県	48	2,520	1,220	977	0.6
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-

○ 夏秋レタス						
順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	9,100	3,020	274,900	265,200	100.0
1	長 野 県	5,370	3,290	176,700	173,400	65.4
2	群 馬 県	1,130	4,020	45,400	43,400	16.4
3	茨 城 県	731	2,260	16,500	16,100	6.1
4	北 海 道	474	2,510	11,900	10,900	4.1
5	岩 手 県	370	2,190	8,100	7,340	2.8
6	福 岡 県	132	1,680	2,220	2,100	0.8
7	青 森 県	106	1,880	1,990	1,750	0.7
8	福 島 県	83	1,580	1,320	1,020	0.4
9	栃 木 県	68	2,320	1,580	1,500	0.6
10	大 分 県	65	1,370	891	825	0.3

6. 今後の気象予報

1ヶ月（7月11日～8月10日）予報に見る確率

	平均気温（1週目）7/11～17	平均気温（2週目）7/18～24	平均気温（3～4週目）7/25～8/7
北日本	低 10% 並 20% 高 70% 高い 見込み	低 10% 並 40% 高 50% 高い 見込み	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
東日本	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	低 10% 並 40% 高 50% 高い 見込み	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 20% 並 50% 高 30% 平年並 の見込み	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美	低 30% 並 50% 高 20% 平年並 の見込み	低 20% 並 50% 高 30% 平年並 の見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	少 20% 並 30% 多 50% 多い 見込み	少 40% 並 40% 多 30% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	少 20% 並 30% 多 50% 多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
東日本	日本海側	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	少 10% 並 30% 多 60% 多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
西日本	日本海側	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	少 20% 並 30% 多 50% 多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	少 10% 並 30% 多 60% 多い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
沖縄・奄美		低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	少 20% 並 30% 多 50% 多い 見込み	少 50% 並 30% 多 20% 少ない 見込み

注：「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較（以下同じ。）

出典：「全般1ヶ月予報解説資料」（平成27年7月9日発表 気象庁地球環境・海洋部）

◎3ヶ月（7月～9月）予報に見る確率

	平均気温 7月	平均気温 8月	平均気温 9月
北日本	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並みの見込み	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並みの見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並みの見込み
東日本	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並みの見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並みの見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並みの見込み
西日本	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並みの見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並みの見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並みの見込み
沖縄・奄美	低 20% 並 30% 高 50% 高い見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並みの見込み

		降水量 7月	降水量 8月	降水量 9月
北日本	日本海側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並みの見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並みの見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み
東日本	日本海側	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 40% 並 30% 多 30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並みの見込み	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並みの見込み
西日本	日本海側	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並みの見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並みの見込み
沖縄・奄美		少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並みの見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並みの見込み	少 40% 並 30% 多 30% ほぼ平年並みの見込み

出典：「全般3ヶ月予報（7～9月）解説資料」（平成27年6月24日発表 気象庁地球環境・海洋部）